

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272501511		
法人名	医療法人すみれ会		
事業所名	グループホームすみれ湖		
所在地 (電話番号)	〒039-2404 青森県上北郡東北町上北北1丁目34-309 (電話) 0176-58-1127		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 12月 11日	評価確定日	平成 20年 2月 5日

【情報提供票より】(平成 19年 11月 26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 12月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15人, 非常勤 1人, 常勤換算 15.15人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 ~ 37,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 750 円		

(4) 利用者の概要(11月 26日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	9 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 82.9 歳	最低	64 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人すみれ会 すみれクリニック・沼山歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くに商店街があるが、施設周辺は田畑に囲まれた環境で、自然に恵まれた安らぎのある生活空間となっている。職員全員が、理念に掲げている利用者一人一人に寄り添った、笑顔あふれる心のケアを大切に取り組む姿勢が見られ、利用者一人一人とのかかわりを大切にしている。敷地内には、同法人の病院があることで、利用者、家族の心身面の安心へつながっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	施設の取り組みを、職員全員が理解し取り組んでいけるよう会議や研修を活用し、意識の統一に向け取り組む姿勢が見られた。入居者の人権尊重やプライバシー保護へも職員が「話し合い、対応する」を繰り返しサービス向上への取り組みがなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	会議を設け、評価の意義、目的を全職員に周知し、自己評価表を職員全員で作成するなど、全員で取り組む姿勢ができています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、民生委員など地域の方の積極的な参加型の会議を持つことができています。地域密着型のサービスを目指し意見交換ができるよう会議のあり方、内容、雰囲気作りなど工夫し実施している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	運営推進会議や家族へ職員が直接声を掛けることで意見の吸収に努めており、それをもとに職員全員がサービス向上に取り組む体制ができています。今後の継続と、要望を表に出せない家族からの意見の吸収方法の検討と対応に期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会へ入会し、地域の方の協力のもと、町内行事への参加は積極的に行っているが、今後、集会などの町内活動への参加も考えている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初会議を設け職員みんなが意見を出し合い理念を決定した。		地域の中で暮らしているということを大事にしたいという考えがあるため、今後、理念の中に組み込まれる事に期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時、職員へ伝え理解してもらおう働きかけている他、ミーティングやカンファレンス時に、理念に沿ったケアができるよう話し合いを行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	開設当時から町内会に入会しており、町内行事への参加や、地域保育園児との交流等行き来がある他、外出や散歩の際には、近隣の方と挨拶を交わす等、交流を図っている。		行事などの交流の他、町内の集会への参加できるよう働きかけていく事を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>会議の場で全職員に、評価の意義や目的を伝え、全員で自己評価に取り組んでいる。結果についても会議で報告し、課題等については、話し合い、取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回実施している。参加者による遠慮のない意見交換ができるよう配慮している。参加者からの意見は、サービス向上につなげるよう、会議で報告している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町役場の介護保険担当者へ入居状況についての報告をしている。他、2つの町の介護相談員が、月に1度来所し、入居者の話を聞き、問題や困っていることなどを職員に伝えてくれる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>その都度、管理者が対応している。現在は制度を利用している方はいない。</p>		<p>管理者以外の職員も制度の理解の必要性を感じている。今後、職員への理解と活用に向けての取り組みに期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の内部研修の実施の他、目に見える虐待以外に、普段の対応の仕方、言葉使いなどで、虐待ととられるようなことはないかを確認し、職員間で話し合いを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、本人、家族へ契約書、重要事項説明書について、項目ごとに説明し理解を得るよう努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>年4回の施設便り発行の他、2ヶ月に1度、担当職員から家族へ手紙で近況報告をしている。金銭管理は、個別に出納帳を記入しており、家族面会時に確認してもらい、サインをもらっている。遠方の家族へは、コピーを郵送し確認してもらっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議での意見を取り入れ、運営に活かしている。また、面会時に聞き取りした意見など取り入れている。</p>		<p>今後、遠方の家族や、面と向かってはいいにくい事に関しての家族からの意見のくみ上げ方法に期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>グループホーム内の棟内の異動はあるが、大きな異動はない。新職員へは、研修を実施し入居者への対応の不備が無いようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修、伝達講習など実施している。運営者の指示による研修参加のほか、職員が希望する研修へも参加させている。また独自の研修会を開催することもある。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は取り組んでいないが、今後実現させたいと考えている。		同町内のグループホームとの関係作りからはじめ、今後交流する機会を作り、サービスの質の向上に取り組まれることを期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、職員が自宅訪問したり、家族と一緒に見学に来てもらったりと、入居者と職員間の良好な関係作りに努めている。環境が変わることで落ち着かないときには、家族に泊まってもらったり、面会を増やしてもらったり、協力依頼をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理や掃除、入居者のできることをやってもらい、一緒に職員もやることで、入居者は役割があることを楽しみにしていたり、職員は学ぶときもあり、支えあいの関係ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中の、声掛け、表情からの把握や、一対一で会話する時間を大切に、入居者の心の声を知ることができるよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族、親族の意向の聞き取りをしたうえで、定期的に出勤職員参加のカンファレンスを開催し、アセスメント、サービス計画についての評価を行い計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の定期的な見直しを実施している。またそれ以外に入院後などの状態変化時には計画変更を実施している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の希望により、帰宅、墓参り、買い物などの外出の送迎や、併設病院以外のかかりつけ医への通院介助など柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同法人クリニックドクターの週1回の往診を受け、緊急時には、受診や往診の協力体制がある。入居前からのかかりつけ医へは、定期的な状態報告、受診を家族の協力を得ながら行っている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>当施設、併設病院の協力を得た上で対応できることを家族へ説明し、家族アンケートで意向の確認を実施している。変更はいつでも可能であることを伝えている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>本人へのさりげない声掛けを心がけ、トイレ誘導や衣類の汚れなどは、周りの人に気づかれないよう配慮をしている。個人情報、記録管理はスタッフルーム内のキャビネットに鍵をかけ管理している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者ごと個々に日課はあるが、その日の体調、気分に合わせて柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>棟ごとに献立を作成しており、作成時に入居者からの要望を聞き、献立に取り込んでいる。食材を切ったり、盛り付けや後片付け等を職員、入居者が一緒に行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は週4日午後に設け、一人週2回を目安に声を掛けている。本人の体調、気分により入浴時間は異なるが、希望時間に入浴できるよう支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日常生活の中では、食事作りや掃除、畑や縫い物を積極的に行っている。その際には、入居者へお礼の言葉を伝えることを大切にしており、その事で役割意識や気持ちの安定につながっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ドライブや買い物、その他行事を実施したり、入居者の希望に応じて外出したりしている。歩行困難者には車椅子を利用して対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>資料をもとにした研修の他、会議の場を活用して職員全員で話し合い、ケアにつなげている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中鍵を掛けることは入居者の精神面に逆効果になる為行っていない。外出希望者には、その都度職員が付き添うなど対応している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>日中、夜間想定避難訓練、避難場所の確認など毎月実施している。消防署指導のもと訓練は年2回実施している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分の摂取量チェックを実施しており、不足している方へは、好みのゼリー、おやつで補うようにしている。それでも補えない方へは、主治医へ相談するなど対応している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルがあり、食前、排泄後の手洗いを徹底している。ドアノブ、手すり、便座等、エタノール拭きを毎日実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>オープンキッチンで、調理の様子や匂いを感じることができる。ホールにはソファーやテレビの配置の他、こ上がりスペースが設けられ、ゆったりと過ごせる空間となっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>じゅうたん、小物入れなどの持込があり、居室内は使いやすいよう配置されている。</p>		

 は、重点項目。